



西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

5月号

シリーズ「学習評価の充実を図る」

授業指導において、『児童生徒一人一人の学習状況や実現状況を把握して、個に応じた手立てや支援を行う学習評価の推進』は、指導と評価を一体化させた授業づくりの重要な視点の一つです。

学習評価を推進するにあたって単元の評価規準の設定がなぜ必要なのでしょうか？具体例とともに紹介します。

特別支援教育ほっと通信—通常の学級での取組①—

特別な支援を必要とする児童・生徒に対しては、「学校全体で育てる」という姿勢が重要です。

学校全体で指導・支援する際のチェックリストを紹介していますので、校内での研修会等にお役立てください。

シリーズ「若手教師のための授業づくり・学級づくり」

今月のシリーズは次の2本立てです。

- ①連休明けの学級づくり
- ②集団指導と個別支援

さて、今春、西部教育局で作成したリーフレットはお読みいただけただけでしょうか？

■黄色いリーフレット

⇒「特別支援学級における授業づくり」

■青いリーフレット

⇒「教師として大切にしたいこと～子どもを伸ばす先生～」

これらのリーフレットは教師経験年数の多寡に限らず、すべての先生方にお読みいただきたい西部教育局からのメッセージがぎっしりつまっています。

このホームページからもダウンロードできますので、手元に置いて御活用ください。

上記、付箋をクリックするか、西部教育局HP「西部教育局からのお役立ち情報」をご覧ください。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/102586.htm>